

2020年2月26日

NEWS RELEASE

これまで、これからも。

Safety &
Value



高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社

東京都港区芝浦 4-13-23

「ファシリティマネジメントフォーラム 2020」にて 省人化・省リスク・省エネをテーマにした講演を実施

2020年2月19日（水）～2020年2月21日（金）、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会（JFMA）が主催する「ファシリティマネジメントフォーラム 2020～人フォーカスの時代 ファシリティマネジメントが拓く未来～」が開催されました。

当フォーラムの展示会場1階では、22のブース（建設、設備、オフィス機器関連等）が展示され、講演会場では3日間で80余りの講演、セミナー、プレゼンテーションが行われました。

当社は当フォーラムにおいて、当社執行役員 営業本部長 西片一成による「経営に寄与する“人のための3つの省” 省人化・省リスク・省エネ」をテーマとした講演および「メーター自動読み取り技術を用いた省人化」についてのプレゼンテーションを実施いたしました。

ご多忙の折にもかかわらずご来場頂き、誠にありがとうございました。新型コロナウイルス流行による来場を自粛する方が多い中、皆様のお陰をもちまして、大盛況のうちに執り行うことができましたことを心よりお礼申し上げます。



1. 講演名：経営に寄与する“人のための3つの省” 省人化・省リスク・省エネ

設備管理には、安定稼働を前提とした保全・修繕費用の低減や省エネルギー化が求められますが、人財が不足している現状では技術の継承ができず、設備管理の課題を解決する技術者不足が問題となっています。そこで当社が培ってきたノウハウにより、メーター自動読み取り技術「LiLz



Gauge」を使用した「省人化」、設備機器データベース「MET@クラウド」等を利用した「省リスク」、エネルギー分析ソフト「GODA@クラウド」を活用したチューニングによる「省エネ」の3つの視点で“人”に関する経営課題を解決するための手法について、講演いたしました。

講演はこれら3つの省を利用して、当フォーラムのメインテーマである「人にフォーカスした時代、ファシリティマネジメントが拓く未来に寄与する」との言葉で締めくくりました。

2. プレゼンテーションテーマ：メーター自動読み取り技術を用いた省人化

技術者不足が問題となっている昨今、当社はLiLz株式会社および高砂熱学工業株式会社と共同で、メーターを自動的に読み取り解析する「LiLz Gauge」を開発しました。日常巡視業務や運転状況確認など、人的業務により実施している日常点検のデータ収集や入力を「LiLz



Gauge」の導入により、各種メーターを自動的に読み取ることで作業時間を削減し、省人化を実現します。また、マンホールの底やクリーンルームの天井裏など、危険箇所でのデータ読み取り作業が省かれることで安全性も向上。当社は貯蓄した様々なデータを、当社の設備総合管理ツール「MOTs@」シリーズと連携し、お客様のニーズに合わせて施設のライフサイクルマネジメントの最適化を図るソリューションを提供し、お客様の事業を支え“人”に関わる経営課題に寄与すると説明し、プレゼンテーションを終了しました。

本件に関するお問い合わせ先

高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社 経営企画部 CSR 推進室 小林、前田

TEL : 03-3455-3600 E-mail : tmkouhou@tte-net.com